



## 2019年12月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年8月7日

上場会社名 ホシザキ株式会社

上場取引所 東名

コード番号 6465 URL <http://www.hoshizaki.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小林 靖浩

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 水谷 正

TEL 0562-96-1320

四半期報告書提出予定日 2019年8月9日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2019年12月期第2四半期の連結業績(2019年1月1日～2019年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年12月期第2四半期	149,631	0.2	18,631	13.1	18,451	10.4	12,800	8.3
2018年12月期第2四半期	149,985	4.4	21,447	6.2	20,591	2.6	13,964	6.0

(注) 包括利益 2019年12月期第2四半期 10,843百万円 ( 8.0%) 2018年12月期第2四半期 11,790百万円 ( 8.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年12月期第2四半期	176.76	
2018年12月期第2四半期	192.84	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年12月期第2四半期	350,180	228,551	64.9	3,137.15
2018年12月期	334,879	223,510	66.4	3,068.86

(参考) 自己資本 2019年12月期第2四半期 227,194百万円 2018年12月期 222,238百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年12月期		0.00		80.00	80.00
2019年12月期		0.00			
2019年12月期(予想)				80.00	80.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2019年12月期の連結業績予想(2019年1月1日～2019年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	296,600	1.3	34,500	5.3	36,400	0.1	24,800	3.6	342.46

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年12月期2Q	72,421,650 株	2018年12月期	72,418,250 株
期末自己株式数	2019年12月期2Q	1,002 株	2018年12月期	981 株
期中平均株式数(四半期累計)	2019年12月期2Q	72,418,234 株	2018年12月期2Q	72,415,184 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
四半期連結損益計算書	4
四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(会計方針の変更)	7
(会計上の見積りの変更)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

なお、「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号 2018年2月16日）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、財政状態については、当該会計基準等を遡って適用した後の数値で前連結会計年度との比較・分析を行っております。

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における国内の経済環境は、経済政策、金融政策の実施等により、雇用・所得環境の改善が見られ、景気は一部に弱さが見られるものの緩やかに回復し、設備投資は増加いたしました。また、個人消費は持ち直しが続き、消費者物価は緩やかに上昇いたしました。

海外におきましては、米国では景気は堅調に推移し、欧州では一部に弱さが見られるものの景気は緩やかに回復いたしました。一方で、中国及びアジアの新興国では景気は緩やかに減速いたしました。また、為替は緩やかな円高傾向で推移いたしました。

このような環境のなか、当社グループは、国内では、引き続きフードサービス産業等への積極的な拡販と新規顧客の継続的な開拓に取り組みました。

海外では、米国を中心に、主要販売先であるフードサービス産業等において、主力製品の拡販に努めました。

なお、原価低減に加えITを活用した業務の効率化や生産性向上に努め、利益の確保に継続的に取り組みました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の経営成績は、売上高は1,496億31百万円（前年同期比0.2%減）、営業利益は前期に連結子会社で判明した不適切な取引行為に対する調査費用等を計上したことにより販売費及び一般管理費が増加し186億31百万円（同13.1%減）となりました。また、経常利益は184億51百万円（同10.4%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は128億円（同8.3%減）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

#### ①日本

日本におきましては、冷蔵庫、製氷機及び食器洗浄機等の積極的な拡販並びに新規顧客への積極的な開拓を推進いたしました。売上高は1,006億88百万円（前年同期比3.1%減）、セグメント利益は127億7百万円（同16.4%減）となりました。

#### ②米州

米州におきましては、製氷機、冷蔵庫等の積極的な拡販を推進いたしました結果、売上高は337億33百万円（前年同期比3.9%増）となりましたが、セグメント利益は45億19百万円（同13.6%減）となりました。

#### ③欧州・アジア

欧州・アジアにおきましては、主力製品の積極的な拡販を推進いたしました結果、売上高は194億90百万円（前年同期比8.6%増）、セグメント利益は19億38百万円（同29.5%増）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べ153億1百万円増加し、3,501億80百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ121億23百万円増加し、2,846億84百万円となりました。主な要因は、受取手形及び売掛金並びに現金及び預金の増加によるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ31億78百万円増加し、654億96百万円となりました。主な要因は、投資その他の資産及び有形固定資産の増加によるものであります。

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べ102億61百万円増加し、1,216億29百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べ95億35百万円増加し、977億78百万円となりました。主な要因は、未払法人税等並びに支払手形及び買掛金の増加によるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ7億26百万円増加し、238億50百万円となりました。主な要因は、退職給付に係る負債の増加によるものであります。

当第2四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べ50億40百万円増加し、2,285億51百万円となりました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2019年5月7日の決算短信で公表いたしました2019年12月期の連結業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	204,263	210,357
受取手形及び売掛金	31,183	39,861
商品及び製品	17,941	15,660
仕掛品	3,820	3,544
原材料及び貯蔵品	10,148	11,056
その他	5,354	4,362
貸倒引当金	△151	△157
流動資産合計	272,560	284,684
固定資産		
有形固定資産	43,962	44,770
無形固定資産	5,489	4,995
投資その他の資産	12,866	15,730
固定資産合計	62,318	65,496
資産合計	334,879	350,180
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	17,664	18,564
未払法人税等	3,760	7,209
賞与引当金	3,434	4,285
その他の引当金	1,641	1,629
その他	61,743	66,089
流動負債合計	88,243	97,778
固定負債		
退職給付に係る負債	19,118	19,402
その他の引当金	1,454	1,382
その他	2,551	3,065
固定負債合計	23,124	23,850
負債合計	111,368	121,629
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	8,008	8,021
資本剰余金	14,530	14,543
利益剰余金	204,123	211,131
自己株式	△4	△4
株主資本合計	226,659	233,691
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	139	98
為替換算調整勘定	△2,052	△4,211
退職給付に係る調整累計額	△2,507	△2,384
その他の包括利益累計額合計	△4,420	△6,497
非支配株主持分	1,272	1,356
純資産合計	223,510	228,551
負債純資産合計	334,879	350,180

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)
売上高	149,985	149,631
売上原価	92,368	92,642
売上総利益	57,616	56,988
販売費及び一般管理費	36,169	38,357
営業利益	21,447	18,631
営業外収益		
受取利息	627	998
その他	263	261
営業外収益合計	891	1,259
営業外費用		
支払利息	34	41
為替差損	1,640	1,270
その他	72	128
営業外費用合計	1,747	1,439
経常利益	20,591	18,451
特別利益		
投資有価証券売却益	—	55
その他	8	10
特別利益合計	8	66
特別損失		
固定資産売却損	3	3
固定資産廃棄損	9	8
関係会社出資金売却損	248	—
特別損失合計	261	12
税金等調整前四半期純利益	20,338	18,505
法人税、住民税及び事業税	9,741	8,882
法人税等調整額	△3,469	△3,326
法人税等合計	6,272	5,555
四半期純利益	14,065	12,950
非支配株主に帰属する四半期純利益	101	149
親会社株主に帰属する四半期純利益	13,964	12,800

(四半期連結包括利益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)
四半期純利益	14,065	12,950
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△88	△40
為替換算調整勘定	△2,279	△2,188
退職給付に係る調整額	92	122
その他の包括利益合計	△2,275	△2,106
四半期包括利益	11,790	10,843
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	11,784	10,724
非支配株主に係る四半期包括利益	6	119

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	20,338	18,505
減価償却費	2,470	2,366
のれん償却額	254	258
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	361	470
製品保証引当金の増減額 (△は減少)	101	△121
賞与引当金の増減額 (△は減少)	934	843
受取利息及び受取配当金	△638	△1,010
為替差損益 (△は益)	1,507	1,172
関係会社出資金売却損益 (△は益)	248	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△11,623	△8,167
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△119	2,235
仕入債務の増減額 (△は減少)	3,001	599
未払金の増減額 (△は減少)	△784	△2,712
未払費用の増減額 (△は減少)	7,663	7,586
前受金の増減額 (△は減少)	△388	△1,476
未払消費税等の増減額 (△は減少)	47	204
その他	604	193
小計	23,978	20,949
利息及び配当金の受取額	521	826
利息の支払額	△26	△49
法人税等の支払額	△6,787	△5,278
営業活動によるキャッシュ・フロー	17,687	16,448
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△66,252	△71,004
定期預金の払戻による収入	103,049	92,608
有形固定資産の取得による支出	△2,369	△2,408
無形固定資産の取得による支出	△124	△237
投資有価証券の売却による収入	—	440
投資有価証券の償還による収入	527	1,000
信託受益権の純増減額 (△は増加)	△86	152
その他	△1,189	△82
投資活動によるキャッシュ・フロー	33,554	20,466
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	122	120
配当金の支払額	△5,068	△5,792
その他	△13	△72
財務活動によるキャッシュ・フロー	△4,959	△5,744
現金及び現金同等物に係る換算差額	△596	△1,949
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	45,685	29,220
現金及び現金同等物の期首残高	49,906	89,256
現金及び現金同等物の四半期末残高	95,592	118,477



(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

(会計方針の変更)

「リース」(IFRS第16号)の適用

第1四半期連結会計期間の期首より、在外連結子会社(米国基準を採用する米国子会社を除く)において、IFRS第16号「リース」を適用しています。この新しい基準により、リースの借り手において、原則として全てのリースを貸借対照表に資産及び負債として計上しております。

なお、この適用による当第2四半期連結会計期間の連結財務諸表に与える影響額については、軽微であります。

(会計上の見積りの変更)

該当事項はありません。

(追加情報)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2018年1月1日 至 2018年6月30日)  
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	米州	欧州・アジア	計		
売上高						
外部顧客への売上高	101,075	32,026	16,882	149,985	—	149,985
セグメント間の内部売上高 又は振替高	2,860	445	1,062	4,368	△4,368	—
計	103,936	32,472	17,945	154,354	△4,368	149,985
セグメント利益	15,204	5,230	1,497	21,933	△486	21,447

(注) 1. セグメント利益の調整額△486百万円には、のれんの償却額△220百万円、無形固定資産等の償却額△72百万円、棚卸資産の調整額△198百万円、その他セグメント間取引の調整等4百万円が含まれております。  
2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)  
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	米州	欧州・アジア	計		
売上高						
外部顧客への売上高	97,899	33,181	18,550	149,631	—	149,631
セグメント間の内部売上高 又は振替高	2,789	552	940	4,281	△4,281	—
計	100,688	33,733	19,490	153,913	△4,281	149,631
セグメント利益	12,707	4,519	1,938	19,165	△534	18,631

(注) 1. セグメント利益の調整額△534百万円には、のれんの償却額△225百万円、無形固定資産等の償却額△14百万円、棚卸資産の調整額△318百万円、その他セグメント間取引の調整等23百万円が含まれております。  
2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。